

学年:	4年生	Stage:	Stage I	コード:	O4206	単位:	2.3
モジュール名	歯冠補綴学(ブリッジ)			科目担当責任者	木本 克彦		
モジュール名(英字)	Bridge Prosthodontics			コース名	ORD 歯科咬合医療系		
一般目標(GIO)	歯の欠損に対するブリッジ治療に関して、咬合機能の回復を図るための臨床的意義を理解するとともに、これら欠損補綴処置に関する基礎知識を修得し、治療手順、基礎的技術を理解する。						
ユニット:一般目標	1. ブリッジ ブリッジの種類と構成要素について説明できる。ブリッジの連結法について、種類と特徴を理解する。ブリッジの特性を理解し、適切な設計方法理解する。クラウンブリッジに必要な前処置の目的と意義を理解する。ボンティックの選択基準とその特徴を理解する。少数歯欠損補綴の治療法の選択としての接着性ブリッジの位置づけを理解する。 2. 咀嚼機能と咬合 クラウンブリッジ補綴に与える咬合を説明できる。咬合器を用いた顎路調整法を理解する。 3. CAD/CAM 補綴 ロストワックス法に変わる新しい補綴装置製作法について理解する。デジタルフローワークについて理解する。						

教育目標

ディプロマポリシー	DPI-1/1-2/1-3	DP2-1/2-2/2-3	DP3-1/3-2/3-3	カリキュラムポリシー-CP	CP2,CP3
	b / b / b	b / b / b	a / b / c		
a:学習成果を上げるために特に強く履修することが求められる科目 b:学習成果を上げるために強く履修することが求められる科目 c:学習成果を上げるために履修する科目					
教科書等 記号 / 書名 / 著書など / 発行所・HPアドレスなど					
教 1/ クラウンブリッジ補綴学(第6版)/ 矢谷博文他 編集/ 医歯薬出版 教 2/ 歯科国家試験/パーフェクトマスター クラウンブリッジ補綴学/ 木本克彦, 星憲幸/ 医歯薬出版 参 1/ 冠橋義歯補綴学テキスト 第4版/ 木本克彦 他編集/ 永末書店 参 2/ 基礎から学ぶCAD/CAMテクノロジー/ 末瀬一彦 他編集/ 医歯薬出版 参 3/ クラウンブリッジテクニック 第2版/ 石橋寛二 他編集/ 医歯薬出版 参 4/ 歯科補綴学専門用語集/ 日本補綴歯科学会 編/ 医歯薬出版					

評価方法

出 欠 席	講義:履修ガイドに準ずる 実習:欠席した実習を補完するための別日実習は行わない。						
モジュール試験(%)	50						
アクティビティ(%)	50 実技評価、レポート、態度評価、その他(事後確認試験)						
	アクティビティ詳細 (%)	事前試験	実技評価	レポート	口頭試験	態度評価	その他
			20	10		10	10
再試験の評価方法	アクティビティ評価の持ち越しはせず、モジュール試験に準じたマークシート方式により評価を行う。						
フィードバックについて	モジュール試験後に、フィードバック講義を実施します。						
アクティブラーニング							

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_001_4/9_1限	2026/04/09	1		講義	11番教室	60
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	ブリッジの種類と構成・連結					
授業目標	1)ブリッジの臨床的意義を説明できる。 2)ブリッジの適応症を説明できる。 3)ブリッジの種類をあげ、説明できる。 4)ブリッジの構成要素について説明できる。 5)連結法の種類と臨床的意義を説明できる。					
キーワード	固定性ブリッジ・半固定性ブリッジ・可撤性ブリッジ・ろう付け法・ワンピースキャスト法・キープアンドキーウエイ・テレスコープクラウン					
担当	木本 克彦					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P28, 29, 32, 33,34					
コアカリ(令和4年)	D-5-3-1-1,D-5-3-1-2,D-5-3-1-12					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-2-ア-d,各論Ⅳ-3-ア					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_002_4/9_2限	2026/04/09	2		講義	11番教室	60
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	ブリッジの設計 ポンティック					
授業目標	1)ブリッジ設計における支台歯の選択基準を説明できる。 2)ろう着法の原則と手順を説明できる。 3)ろう着法に用いる材料と所要性質を説明できる。 4)ポンティックの種類と選択基準を説明できる。 5)ポンティックの材料を説明できる。型形成法の特徴を説明できる。					
キーワード	歯根表面積・負担荷重・中間欠損・遊離端欠損・延長ブリッジ・離底型・船底型・リッジラップ型・偏側型・鞍状型・有床型・有根型・オパイト型					
担当	木本 克彦					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P30,31					
コアカリ(令和4年)	D-5-3-1-9,D-5-3-1-10,E-5-3-4-1-1					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-2-ア-d,各論Ⅳ-3-ア,各論Ⅳ-3-ウ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_003_4/9_3限	2026/04/09	3		講義	11番教室	60
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	クラウンブリッジの前処置 メンテナンス					
授業目標	1)クラウンブリッジ補綴における前処置の意義を説明できる。 2)前処置を分類し、その種類と内容を説明できる。 3)ブリッジのメンテナンスを説明できる。					
キーワード	口腔衛生状態・抜歯・ブラークコントロール・MTM・ヘミセクション・アップライティング・エクストルージョン・メンテナンス					
担当	本間 優太					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P45-49					
コアカリ(令和4年)	D-5-3-1-2,D-5-3-1-9,D-5-3-1-13,E-5-3-4-1-8,E-5-3-4-1-9					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-6-イ-a,総論Ⅶ-6-イ-b,総論Ⅶ-6-イ-c,総論Ⅶ-7-ウ-a,総論Ⅶ-7-ウ-b,総論Ⅶ-7-ウ-c,総論Ⅶ-6-ウ-a,総論Ⅶ-6-ウ-b,総論Ⅶ-6-ウ-c,総論Ⅶ-2-ア-d,各論Ⅳ-3-ア,各論Ⅳ-3-イ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

O4206_004_4/9_4限	2026/04/09	4		講義	11番教室	60
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	接着性ブリッジと接着機構					
授業目標	1)接着性ブリッジの利点・欠点を説明できる。 2)接着性ブリッジの適応症を説明できる。 3)接着性レジンセメントとエナメル質・象牙質との接着機構を説明できる。 4)前歯ならび臼歯接着ブリッジの基本的デザインを説明できる。					
キーワード	部分被覆冠・接着性レジン・歯質削除量・被着面処理					
担当	本間 優太					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P32,33					
コアカリ(令和4年)	B-2-3,D-5-3-1-2,D-5-3-1-9,D-5-3-1-12					
国試出題基準(令和5年)	必修11-セf,必修11-セh,総論Ⅶ-9-ア-a,総論Ⅶ-9-ア-b,総論Ⅶ-9-ア-c,総論Ⅶ-8-ア,総論Ⅶ-8-イ-a,総論Ⅶ-8-イ-b,総論Ⅶ-8-ウ-a,総論Ⅶ-8-ウ-b,総論Ⅶ-8-ウ-c,総論Ⅶ-9-イ,総論Ⅶ-2-ア-d,各論Ⅳ-3-ア,各論Ⅳ-3-イ-j					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_005_4/10_1限	2026/04/10	1		実習	臨床実習室1	60
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	支台歯形成(前歯部ブリッジ形成)					
授業目標	1)歯頸部辺縁形態の分類と適応を列挙できる。 2)前装铸造冠の支台歯形成手順を説明できる。 3)歯質・歯髄・歯周組織への配慮を説明できる。					
キーワード	歯質削除量・歯髄へ影響・テーパー・辺縁形態・マージンの位置・歯肉圧排・浸潤麻酔・エアータービン・マイクロモーター・ダイヤモンドバー					
担当	足立 拓也,市ヶ谷 成美,伊東 佑輔,小田切 憲,小澤遼太郎,桂田 祐慎,川西 範繁,木本 克彦,熊坂 知就,小林 弘明,河野 虎己,齋田 牧子,榎原 潤,田中 淳也,角井 早紀,東 冬一郎,堀 紀雄,本間 優太,毛内 伸威,山口 麗,若菜 裕					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P56-59					
コアカリ(令和4年)	D-5-3-1-4					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケe,総論Ⅶ-2-ア-d,各論Ⅳ-3-イ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_006_4/10_2限	2026/04/10	2		実習	臨床実習室1	60
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	支台歯形成(前歯部ブリッジ形成)					
授業目標	1)歯頸部辺縁形態の分類と適応を列挙できる。 2)前装铸造冠の支台歯形成手順を説明できる。 3)歯質・歯髄・歯周組織への配慮を説明できる。					
キーワード	歯質削除量・歯髄へ影響・テーパー・辺縁形態・マージンの位置・歯肉圧排・浸潤麻酔・エアータービン・マイクロモーター・ダイヤモンドバー					
担当	足立 拓也,市ヶ谷 成美,伊東 佑輔,小田切 憲,小澤遼太郎,桂田 祐慎,川西 範繁,木本 克彦,熊坂 知就,小林 弘明,河野 虎己,齋田 牧子,榎原 潤,田中 淳也,角井 早紀,東 冬一郎,堀 紀雄,本間 優太,毛内 伸威,山口 麗,若菜 裕					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P56-60					
コアカリ(令和4年)	D-5-3-1-4					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケe,総論Ⅶ-2-ア-d,各論Ⅳ-3-イ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_007_4/10_3限	2026/04/10	3		実習	臨床実習室1	60
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	プロビジョナルブリッジ					

授業目標	1)プロビジョナルレストレーションの目的を説明できる。 2)プロビジョナルレストレーションの製法を説明できる
キーワード	即時重合レジン・仮着材
担当	足立 拓也,市ヶ谷 成美,伊東 佑輔,小田切 憲,小澤遼太郎,桂田 祐慎,川西 範繁,木本 克彦,熊坂 知就,小林 弘明,河野 虎己,齋田 牧子,榑原 潤,田中 淳也,角井 早紀,東 冬一郎,堀 紀雄,本間 優太,毛内 伸威,山口 麗,若菜 裕
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P59-63
コアカリ(令和4年)	B-3-1,D-5-3-1-8,E-5-3-4-1-7
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-e,総論VII-2-ア-d,各論IV-3-イ-e

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_008_4/10_4限	2026/04/10	4		実習	臨床実習室1	60
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	プロビジョナルブリッジ					
授業目標	1)プロビジョナルレストレーションの目的を説明できる。 3)プロビジョナルレストレーションの製法を説明できる					
キーワード	即時重合レジン・仮着材					
担当	足立 拓也,市ヶ谷 成美,伊東 佑輔,小田切 憲,小澤遼太郎,桂田 祐慎,川西 範繁,木本 克彦,熊坂 知就,小林 弘明,河野 虎己,齋田 牧子,榑原 潤,田中 淳也,角井 早紀,東 冬一郎,堀 紀雄,本間 優太,毛内 伸威,山口 麗,若菜 裕					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P59-64					
コアカリ(令和4年)	B-3-1,D-5-3-1-8,E-5-3-4-1-7					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-e,総論VII-2-ア-d,各論IV-3-イ-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_009_4/16_1限	2026/04/16	1		実習	臨床実習室2	61
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	歯型の調整					
授業目標	1)歯型の調整の手順を説明できる。 2)各ろう型形成法の特徴を説明できる。 3)ポンティック基底面形態について説明できる。					
キーワード	分割線・糸鋸・トリミング・フィニッシュライン					
担当	足立 拓也,市ヶ谷 成美,伊東 佑輔,小田切 憲,小澤遼太郎,桂田 祐慎,川西 範繁,木本 克彦,熊坂 知就,小林 弘明,河野 虎己,齋田 牧子,榑原 潤,田中 淳也,角井 早紀,東 冬一郎,堀 紀雄,本間 優太,毛内 伸威,山口 麗,若菜 裕					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P87-90					
コアカリ(令和4年)	D-5-3-1-10					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-e,総論VIII-4-イ-a,総論VIII-4-イ-b,総論VII-2-ア-d,各論IV-4-ウ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_010_4/16_2限	2026/04/16	2		実習	臨床実習室1	60
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	ろう型形成(ワックスパターン形成)					
授業目標	1)ワックスの特性を説明できる。 2)各ろう型形成法の特徴を説明できる。 3)ポンティック基底面形態について説明できる。					
キーワード	インレーワックス・圧接法・浸漬法・盛り上げ法。FGP法・ドロップオンテクニック					
担当	足立 拓也,市ヶ谷 成美,伊東 佑輔,小田切 憲,小澤遼太郎,桂田 祐慎,川西 範繁,木本 克彦,熊坂 知就,小林 弘明,河野 虎己,齋田 牧子,榑原 潤,田中 淳也,角井 早紀,東 冬一郎,堀 紀雄,本間 優太,毛内 伸威,山口 麗,若菜 裕					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P91-96					

コアカリ(令和4年)	B-3-1.D-5-3-1-9
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-e,総論Ⅷ-4-ア-a,総論Ⅷ-4-イ-a,総論Ⅷ-4-イ-b,各論Ⅳ-3-ウ-a

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_011_4/16_3限	2026/04/16	3		実習	臨床実習室1	60
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	ろう型形成(ワックスパターン形成)					
授業目標	1)ワックスの特性を説明できる。 2)各ろう型形成法の特徴を説明できる。 3)ポンティック基底面形態について説明できる。					
キーワード	インレーワックス・圧接法・浸漬法・盛り上げ法。FGP法・ドロップオンテクニック					
担当	足立 拓也,市ヶ谷 成美,伊東 佑輔,小田切 憲,小澤遼太郎,桂田 祐慎,川西 範繁,木本 克彦,熊坂 知就,小林 弘明,河野 虎己,齋田 牧子,榎原 潤,田中 淳也,角井 早紀,東 冬一郎,堀 紀雄,本間 優太,毛内 伸威,山口 麗,若菜 裕					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P91-97					
コアカリ(令和4年)	B-3-1.D-5-3-1-9					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-e,総論Ⅷ-4-ア-a,総論Ⅷ-4-イ-a,総論Ⅷ-4-イ-b,各論Ⅳ-3-ウ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_012_4/16_4限	2026/04/16	4		実習	臨床実習室1	60
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	ろう型形成(ワックスパターン形成)					
授業目標	1)ワックスの特性を説明できる。 2)各ろう型形成法の特徴を説明できる。 3)ポンティック基底面形態について説明できる。					
キーワード	インレーワックス・圧接法・浸漬法・盛り上げ法。FGP法・ドロップオンテクニック					
担当	足立 拓也,市ヶ谷 成美,伊東 佑輔,小田切 憲,小澤遼太郎,桂田 祐慎,川西 範繁,木本 克彦,熊坂 知就,小林 弘明,河野 虎己,齋田 牧子,榎原 潤,田中 淳也,角井 早紀,東 冬一郎,堀 紀雄,本間 優太,毛内 伸威,山口 麗,若菜 裕					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P91-98					
コアカリ(令和4年)	B-3-1.D-5-3-1-9					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-e,総論Ⅷ-4-ア-a,総論Ⅷ-4-イ-a,総論Ⅷ-4-イ-b,各論Ⅳ-3-ウ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_013_4/17_1限	2026/04/17	1		実習	臨床実習室1	60
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	ろう型形成(ワックスパターン形成)					
授業目標	1)ワックスの特性を説明できる。 2)各ろう型形成法の特徴を説明できる。 3)ポンティック基底面形態について説明できる。 4)ブリッジ連結部について説明できる。 5)窓開けについて説明できる。					
キーワード	インレーワックス・圧接法・浸漬法・盛り上げ法。FGP法・ドロップオンテクニック, ポンティック基底面形態, 連結					
担当	足立 拓也,市ヶ谷 成美,伊東 佑輔,小田切 憲,小澤遼太郎,桂田 祐慎,川西 範繁,木本 克彦,熊坂 知就,小林 弘明,河野 虎己,齋田 牧子,榎原 潤,田中 淳也,角井 早紀,東 冬一郎,堀 紀雄,本間 優太,毛内 伸威,山口 麗,若菜 裕					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P91-99					
コアカリ(令和4年)	B-3-1.D-5-3-1-9					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-e,総論Ⅷ-4-ア-a,総論Ⅷ-4-イ-a,総論Ⅷ-4-イ-b,各論Ⅳ-3-ウ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_014_4/17_2限	2026/04/17	2		実習	臨床実習室1	60
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	ろう型形成(ワックスパターン形成)					
授業目標	1)ワックスの特性を説明できる。 2)各ろう型形成法の特徴を説明できる。 3)ポンティック基底面形態について説明できる。 4)ブリッジ連結部について説明できる。 5)窓開けについて説明できる。					
キーワード	インレーワックス・圧接法・浸漬法・盛り上げ法。FGP法・ドロップオンテクニック、ポンティック基底面形態、連結					
担当	足立 拓也,市ヶ谷 成美,伊東 佑輔,小田切 憲,小澤遼太郎,桂田 祐慎,川西 範繁,木本 克彦,熊坂 知就,小林 弘明,河野 虎己,齋田 牧子,榎原 潤,田中 淳也,角井 早紀,東 冬一郎,堀 紀雄,本間 優太,毛内 伸威,山口 麗,若菜 裕					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P91-100					
コアカリ(令和4年)	B-3-1,D-5-3-1-9					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-e,総論Ⅷ-4-ア-a,総論Ⅷ-4-イ-a,総論Ⅷ-4-イ-b,各論Ⅳ-3-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_015_4/17_3限	2026/04/17	3		実習	臨床実習室1	60
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	ろう型形成(ワックスパターン形成)					
授業目標	1)ワックスの特性を説明できる。 2)各ろう型形成法の特徴を説明できる。 3)ポンティック基底面形態について説明できる。 4)ブリッジ連結部について説明できる。 5)窓開けについて説明できる。 6)硬質レジン前装冠の維持装置について説明できる					
キーワード	インレーワックス・圧接法・浸漬法・盛り上げ法。FGP法・ドロップオンテクニック、ポンティック基底面形態、連結、窓開け、リテンションピース					
担当	足立 拓也,市ヶ谷 成美,伊東 佑輔,小田切 憲,小澤遼太郎,桂田 祐慎,川西 範繁,木本 克彦,熊坂 知就,小林 弘明,河野 虎己,齋田 牧子,榎原 潤,田中 淳也,角井 早紀,東 冬一郎,堀 紀雄,本間 優太,毛内 伸威,山口 麗,若菜 裕					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P91-101					
コアカリ(令和4年)	B-3-1,D-5-3-1-9					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-e,総論Ⅷ-4-ア-a,総論Ⅷ-4-イ-a,総論Ⅷ-4-イ-b,各論Ⅳ-3-ウ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_016_4/17_4限	2026/04/17	4		実習	臨床実習室1	60
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	ろう型形成(ワックスパターン形成)					
授業目標	1)ワックスの特性を説明できる。 2)各ろう型形成法の特徴を説明できる。 3)ポンティック基底面形態について説明できる。 4)ブリッジ連結部について説明できる。 5)窓開けについて説明できる。 6)硬質レジン前装冠の維持装置について説明できる					
キーワード	インレーワックス・圧接法・浸漬法・盛り上げ法。FGP法・ドロップオンテクニック、ポンティック基底面形態、連結、窓開け、リテンションピース					
担当	足立 拓也,市ヶ谷 成美,伊東 佑輔,小田切 憲,小澤遼太郎,桂田 祐慎,川西 範繁,木本 克彦,熊坂 知就,小林 弘明,河野 虎己,齋田 牧子,榎原 潤,田中 淳也,角井 早紀,東 冬一郎,堀 紀雄,本間 優太,毛内 伸威,山口 麗,若菜 裕					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P91-102					
コアカリ(令和4年)	B-3-1,D-5-3-1-9					
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-e,総論Ⅷ-4-ア-a,総論Ⅷ-4-イ-a,総論Ⅷ-4-イ-b,各論Ⅳ-3-ウ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_017_4/23_1限	2026/04/23	1		講義	11番教室	60
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	ろう付け法					
授業目標	1) 蠟着の目的を説明できる。 2) 蠟着における口腔内試適が説明できる。 3) 蠟着間隙を説明できる。 4) 蠟着用のコア採得の目的を説明できる。 5) 蠟着用のコア採得の手順を説明出来る。					
キーワード	ろう付け面, 支台装置の適合性, ろう付け間隙, 咬合面コア, 石膏, パターンレジン					
担当	川西 範繁					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P107-110					
コアカリ(令和4年)	B-2-1,B-3-1,D-5-3-1-9					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅷ-6-ウ-a,総論Ⅷ-6-ウ-b,総論Ⅷ-6-ウ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_018_4/23_2限	2026/04/23	2		実習	臨床実習室1	60
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	蠟着					
授業目標	1) 蠟着の目的を説明できる。 2) 蠟着における口腔内試適が説明できる。 3) 蠟着間隙を説明できる。 4) 蠟着用のコア採得の目的を説明できる。 5) 蠟着用のコア採得の手順を説明出来る。					
キーワード	ろう付け面, 支台装置の適合性, ろう付け間隙, 咬合面コア, 石膏, パターンレジン					
担当	足立 拓也,市ヶ谷 成美,伊東 佑輔,小田切 憲,小澤遼太郎,桂田 祐慎,川西 範繁,木本 克彦,熊坂 知就,小林 弘明,河野 虎己,齋田 牧子,榎原 潤,田中 淳也,角井 早紀,東 冬一郎,堀 紀雄,本間 優太,毛内 伸威,山口 麗,若菜 裕					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P107-111					
コアカリ(令和4年)	B-2-1,B-3-1,D-5-3-1-9					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅷ-6-ウ-a,総論Ⅷ-6-ウ-b,総論Ⅷ-6-ウ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_019_4/23_3限	2026/04/23	3		実習	臨床実習室1	60
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	蠟着					
授業目標	1) 蠟着の目的を説明できる。 2) 蠟着における口腔内試適が説明できる。 3) 蠟着間隙を説明できる。 4) 蠟着用のコア採得の目的を説明できる。 5) 蠟着用のコア採得の手順を説明出来る。 6) ろう付け用埋没材について説明できる。 7) ろう付け用埋没の手順を説明できる。					
キーワード	ろう付け用埋没材, 石英系埋没材					
担当	足立 拓也,市ヶ谷 成美,伊東 佑輔,小田切 憲,小澤遼太郎,桂田 祐慎,川西 範繁,木本 克彦,熊坂 知就,小林 弘明,河野 虎己,齋田 牧子,榎原 潤,田中 淳也,角井 早紀,東 冬一郎,堀 紀雄,本間 優太,毛内 伸威,山口 麗,若菜 裕					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P107-112					
コアカリ(令和4年)	B-2-1,B-3-1,D-5-3-1-9					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅷ-6-ウ-d,総論Ⅷ-6-ウ-e,総論Ⅷ-6-ウ-f,総論Ⅷ-6-ウ-a,総論Ⅷ-6-ウ-b,総論Ⅷ-6-ウ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_020_4/23_4限	2026/04/23	4		実習	臨床実習室1	60
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	蝟着					
授業目標	1) 蝟着の目的を説明できる。 2) 蝟着における口腔内試適が説明できる。 3) 蝟着間隙を説明できる。 4) 蝟着用のコア採得の目的を説明できる。 5) 蝟着用のコア採得の手順を説明出来る。 6) ろう付け用埋没材について説明できる。 7) ろう付け用埋没の手順を説明できる。					
キーワード	フラックス, アンチフラックス, ろう付け用金属, 研磨バー					
担当	足立 拓也,市ヶ谷 成美,伊東 佑輔,小田切 憲,小澤遼太郎,桂田 祐慎,川西 範繁,木本 克彦,熊坂 知就,小林 弘明,河野 虎己,齋田 牧子,榎原 潤,田中 淳也,角井 早紀,東 冬一郎,堀 紀雄,本間 優太,毛内 伸威,山口 麗,若菜 裕					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P107-113					
コアカリ(令和4年)	B-2-1,B-3-1,D-5-3-1-9					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-6-ウ-a,総論Ⅶ-6-ウ-b,総論Ⅶ-6-ウ-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_021_4/24_1限	2026/04/24	1		講義	11番教室	60
ユニット	顎機能と咬合					
サブユニット	顎機能と咬合					
授業目標	1) 有歯顎の咬合様式について理解する。					
キーワード	口腔機能・下顎位・下顎運動・咬合様式・半調節性咬合器・全調節性咬合器・					
担当	木本 克彦					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P3-10, 71-75					
コアカリ(令和4年)	B-3-2,D-5-3-1-11,E-2-2-4					
国試出題基準(令和5年)	必修8-カ-b,必修8-キ-a,総論Ⅶ-2-ア-d,各論Ⅳ-2-ウ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_022_4/24_2限	2026/04/24	2		講義	11番教室	60
ユニット	顎機能と咬合					
サブユニット	顎機能と咬合					
授業目標	1) 有歯顎の咬合採得について理解する。					
キーワード	フェイスポートランスファー・咬合器付着・チェックバイト法・咬頭嵌合位・作業側・平衡側・矢状顎路・側方顎路					
担当	木本 克彦					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P3-10, 71-76					
コアカリ(令和4年)	B-3-2,D-5-3-1-11,E-2-2-4					
国試出題基準(令和5年)	必修8-カ-b,必修8-キ-a,総論Ⅶ-2-ア-d,各論Ⅳ-2-ウ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_023_4/24_3限	2026/04/24	3		実習	臨床実習室1	60
ユニット	顎機能と咬合					
サブユニット	顎機能と咬合					
授業目標	2) チェックバイト法を顎路調整法を理解する。					

キーワード	チェックバイト法・半調節性咬合器・作業側・平衡側・矢状顎路・側方顎路
担当	足立 拓也,市ヶ谷 成美,伊東 佑輔,小田切 憲,小澤遼太郎,桂田 祐慎,川西 範繁,木本 克彦,熊坂 知就,小林 弘明,河野 虎己,齋田 牧子,榑原 潤,田中 淳也,角井 早紀,東 冬一郎,堀 紀雄,本間 優太,毛内 伸威,山口 麗,若菜 裕
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P3-10, 71-77
コアカリ(令和4年)	B-3-2,D-5-3-1-11,E-2-2-4
国試出題基準(令和5年)	必修8-カ-b,必修8-キ-a,総論Ⅶ-2-ア-d,各論Ⅳ-2-ウ

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_024_4/24_4限	2026/04/24	4		実習	臨床実習室1	60
ユニット	顎機能と咬合					
サブユニット	顎機能と咬合					
授業目標	2)チェックバイト法を顎路調整法を理解する。					
キーワード	チェックバイト法・半調節性咬合器・作業側・平衡側・矢状顎路・側方顎路					
担当	足立 拓也,市ヶ谷 成美,伊東 佑輔,小田切 憲,小澤遼太郎,桂田 祐慎,川西 範繁,木本 克彦,熊坂 知就,小林 弘明,河野 虎己,齋田 牧子,榑原 潤,田中 淳也,角井 早紀,東 冬一郎,堀 紀雄,本間 優太,毛内 伸威,山口 麗,若菜 裕					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P3-10, 71-78					
コアカリ(令和4年)	B-3-2,D-5-3-1-11,E-2-2-4					
国試出題基準(令和5年)	必修8-カ-b,必修8-キ-a,総論Ⅶ-2-ア-d,各論Ⅳ-2-ウ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_025_4/30_1限	2026/04/30	1		実習	臨床実習室1	60
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	硬質レジン築盛					
授業目標	1)前装冠について説明できる。 2)硬質レジン前装冠の前装について説明できる。 3)硬質レジン前装冠の硬質レジンの築盛について説明できる。 4)硬質レジン前装冠の形態修整, 研磨について説明できる。					
キーワード	機械的結合, 化学的結合, リテンションビーズ, アンダーカット, 金属接着性プライマー, オペークレジン, デンティン色レジン, エナメル色レジン, カーボラ ンダムポイント, ペーパーコーン・シリコンポイント・ホイール					
担当	足立 拓也,市ヶ谷 成美,伊東 佑輔,小田切 憲,小澤遼太郎,桂田 祐慎,川西 範繁,木本 克彦,熊坂 知就,小林 弘明,河野 虎己,齋田 牧子,榑原 潤,田中 淳也,角井 早紀,東 冬一郎,堀 紀雄,本間 優太,毛内 伸威,山口 麗,若菜 裕					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P94					
コアカリ(令和4年)	B-2-1,B-3-1,D-5-3-1-9					
国試出題基準(令和5年)	必修11-セ-f,総論Ⅶ-6-エ-b,各論Ⅳ-3-ウ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_026_4/30_2限	2026/04/30	2		実習	臨床実習室1	60
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	試適・調整 合着 術後管理					
授業目標	1)ブリッジの試適調整について説明できる。 2)ブリッジの合着, 接着の種類と手順について説明できる。 3)ブリッジの術後管理について説明できる。					
キーワード	適合状態・コンタクトゲージ・隣接接触関係・咬合紙・仮着・審美性・リムーバルノブ・グラスアイオノマーセメント・接着性レジンセメント・サンドブラスト処理・ 金属接着性プライマー・シランカップリング処理・デンティンプライマー処理・PMTC・口腔清掃の管理・定期検診					
担当	足立 拓也,市ヶ谷 成美,伊東 佑輔,小田切 憲,小澤遼太郎,桂田 祐慎,川西 範繁,木本 克彦,熊坂 知就,小林 弘明,河野 虎己,齋田 牧子,榑原 潤,田中 淳也,角井 早紀,東 冬一郎,堀 紀雄,本間 優太,毛内 伸威,山口 麗,若菜 裕					

学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P79-86
コアカリ(令和4年)	D-5-3-1-12,E-5-3-4-1-8,E-5-3-4-1-9
国試出題基準(令和5年)	必修11-ケ-e,総論Ⅷ-6-I-b,総論Ⅷ-6-ウ-a,総論Ⅷ-6-ウ-b,総論Ⅷ-6-ウ-c

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_027_4/30_3限	2026/04/30	3		講義	11番教室	60
ユニット	デジタル補綴					
サブユニット	CAD/CAM 補綴					
授業目標	1)ロストワックス法に変わる新しい補綴装置製作法(CAD/CAM)について説明できる。 2)オールセラミック修復の臨床的意義を説明できる。 3)オールセラミック修復の適応症と禁忌症が説明できる。					
キーワード	光学印象・セラミックス・CADによる形状測定、設計・CAMによる機械加工・オーラルスキャナ					
担当	星 憲幸					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修 資料 教2:P111-121					
コアカリ(令和4年)	B-2-1,B-3-4,D-5-3-1-9,E-5-3-4-1-4					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅶ-2-ア-d,各論Ⅳ-3-ウ-a,各論Ⅳ-3-ウ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4206_028_4/30_4限	2026/04/30	4		講義	11番教室	60
ユニット	ブリッジ					
サブユニット	振り返り					
授業目標						
キーワード	振り返り					
担当	川西 範繁					
学修範囲(事前事後学修)						
コアカリ(令和4年)						
国試出題基準(令和5年)						